

# とにかく ひらがな・カタカナが大事 楽しい「読み」支援につなげよう！ ～上伊那生協病院(小児リハ)での評価から見えてきたこと～

かみとくれん サマースクール 3時間目

2021年7月31日

上伊那生協病院 言語聴覚士 小林由美子

アドバイザー：上伊那こどもSTグループの皆様

中村由実先生 OT小平綾さん

スペシャルサンクス 小林章子さん 福島徹先生



# お伝えしたいこと

---

- ・発達性ディスレクシア の定義、考え方
- ・上伊那生協病院で実施している読みの評価について
- ・子どもたちの困り感
- ・まずは学習の基礎となるひらがな・カタカナの 読みが大事
- ・就学前の音韻認識遊びの大切さ
- ・仮名をすらすら 正しく読めるための楽しい支援、伊那市での取り組み

# 発達性ディスレクシアの視点で

---

基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く・話す・読む・書く、計算する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難をしめす様々な状態をさす。その原因として中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されるが、視覚障害・聴覚障害・知的障害・情緒障害、環境的な要因が直接の原因となるものではない。(学習障害の定義:1999 文部省 )

発達性ディスレクシアとは神経生物学的原因に起因する特異的障害である。その基本的特徴は、文字や単語の音読や書字に関する正確性や流暢性の困難である。

こうした困難さは、音韻処理や視覚認知などの障害により、しばしば他の認知能力から予測できないことがある。二次的に読む機会が少なくなる結果、語彙の発達や背景となる知識の増大を妨げることが少なくない。

(2003 国際ディスレクシア協会 定義)

# ヒトの大脳左半球 それぞれの働き

- ・それぞれの場所の働きにくさだけでなく

- ・それぞれの場所と場所を結ぶ  
**神経ネットワーク**の速さ

つながりやすさがそれぞれ違う

読みの障がいは

考える

決める

動かす

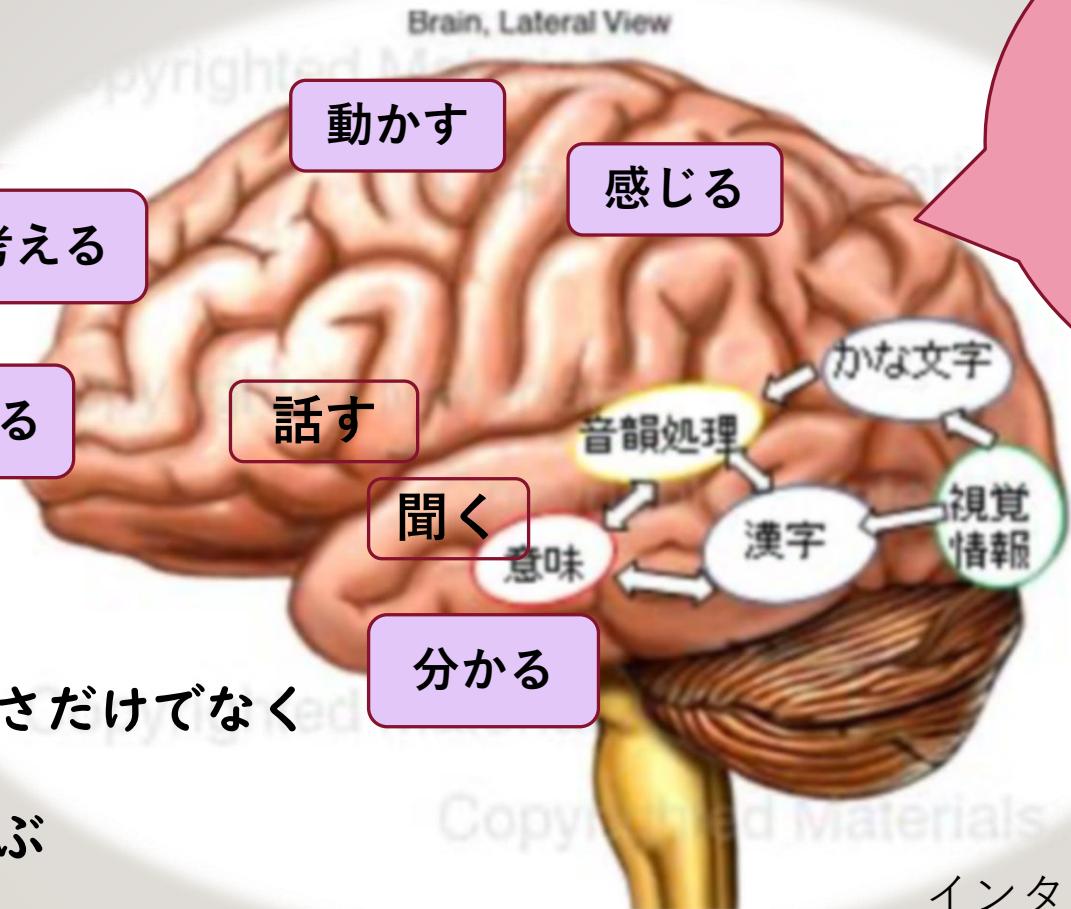
話す

聞く

分かる

感じる

見る



インターネットより画像をお借り  
して加筆しました

聞いた音の弁別ができる

集中できる

文字がすらすら読める

文字の意味がわかる

記憶できる

本が読める。書いてあることの内容が分かる。

文字の形が区別できる

自分の経験と照らし合わせ  
イメージできる

文章を目で追える

言葉をたくさん知っている

自分の考えと比較できる

「読む」ためにはいろいろな力が必要

その他もろもろ

# 『読み』の苦手さとは？

全く読めないことではなく、読む速度が極端に遅いこと

---

- ・**流暢性** すらすらと
- ・**正確性** 間違わずに
- ・**自動化** 見たものをぱっと言葉にできる
- ・ 眼球の動き サッと見たりじっくり見たり、行を変えたり 「今 どこ読んでたっけ？」
- ・ 形の捉え方 「め」と「ぬ」は同じ？違う？
- ・ 集中力も必要 「先生 なんか言ってるな…あ、飛行機が飛んでる」
- ・ ワーキングメモリーも必要 「あれ、最初の方なんて書いてあったっけ？」

# なぜ、すらすらと読めるようになる ことが大切か？

## 生活（コミュニケーション）言語 と 学習言語

- ・ 生活の基礎となる『基本語彙』 1000~2000語
- ・ 学習基本語彙（小学生） 上記基本語彙を含む5000語
- ・ その後の学習語彙 25000語

\*会話ができていても、実は学習言語にはあまり繁栄されない！

学習言語を育てるのは文字による学習と言われている。

つまり、本が読めないと言葉（語彙）は増えない！ 学習が積み上がらない！

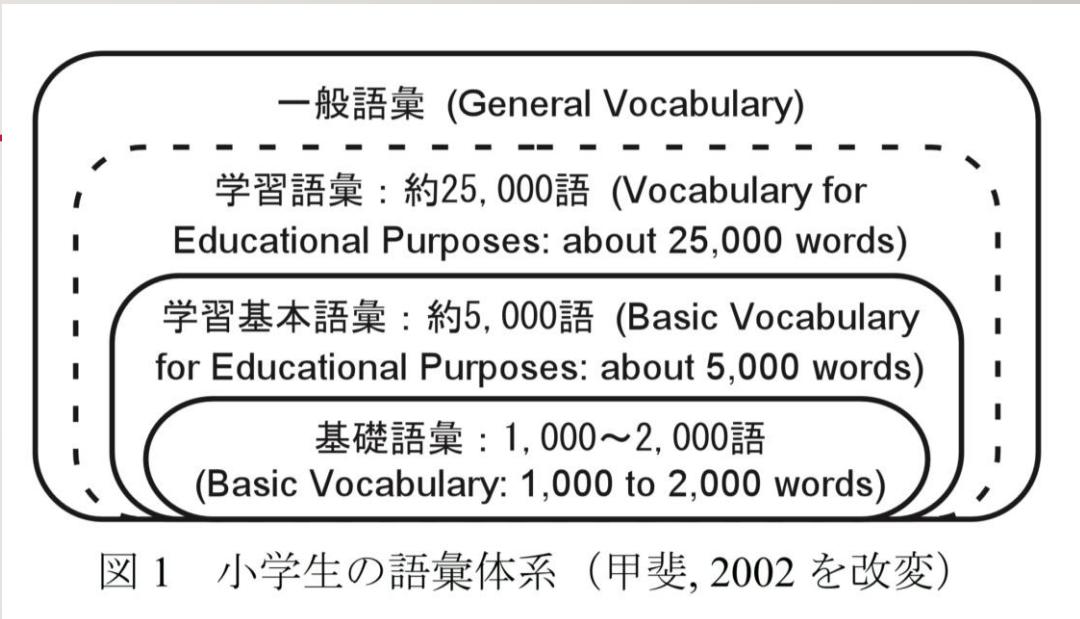


図1 小学生の語彙体系（甲斐, 2002 を改変）

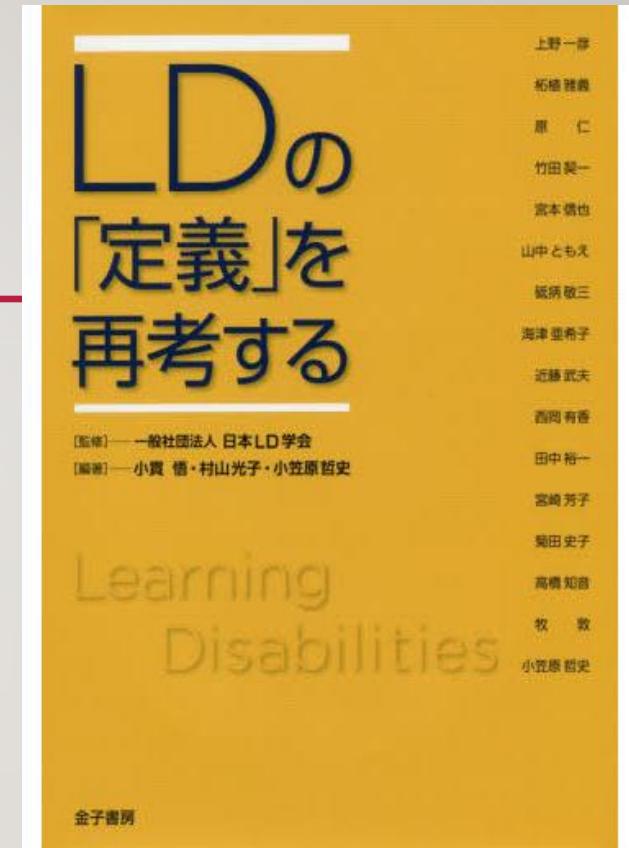
児童を対象とした単語親密度実験  
(国立特別支援教育総合研究所) より拝借しました

# 日本におけるLDの考え方

- 1999年「学習障害」の定義
- 2005年 発達支援法
- 2016年 差別解消法 ようやく具体的な支援が…
- 2019年 LD学会開催に合わせ『LDの「定義」を再考する』という本が出版されました。20年の節目。

LD = Learning difference と考えてはどうか？

つまり「学ぶことの障がい」ではなく、「**学び方が違う**」子ども と捉える



# 上伊那生協病院での小児リハビリ

上伊那圏域 北部エリアに位置し、  
主に箕輪・辰野・南箕輪町、の一部のお子さんが来  
ています。

小児科：中村Dr.・OT3名・ST2名が小児リハ担当  
臨床心理士（非常勤）

\*OTは1日平均5～6名程度

**\*STは 1日平均 1名程度の小児枠**



# 上伊那生協病院に「読み書き相談」 で通院してくる子どもたち

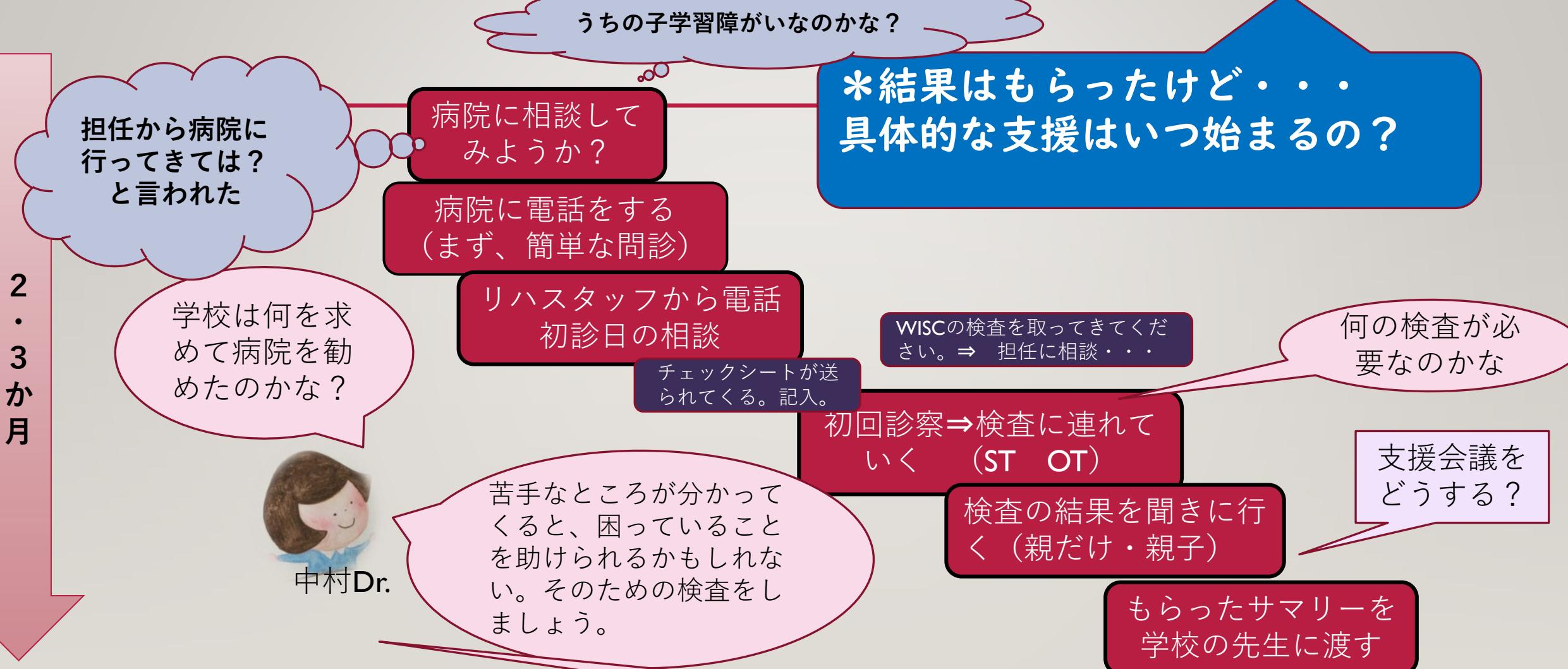
---

- ① 就学前から当院のリハビリを利用  
就学前後に学習に関して相談
- ② 当院でのリハビリはしていなかったが、就学後に学習のつまずきを感じて、  
**LDなのか？**と、受診
- ③ 学校等での支援を受けるため**LDの診断**を求めて受診

LDのご相談は  
1～2か月に  
1名程度

- ・ 「診断」があると支援が受けやすい（支援の絶対条件ではない）
- ・ 学校での**LD支援歴**があれば受験などの際に配慮が受けられる

# 受診⇒検査⇒結果をお返しするまで (保護者)



# 上伊那生協病院でのLD評価

全体的な知能評価をしてあることが前提

『標準読み書きスクリーニング検査』 (STRAW-R)

『小中学生の読み書きの理解』 (URAWSS II)

K-ABC II

『フロスティック視知覚発達検査』

『ヴィジョンアセスメント』 (WAVES)



ST

評価時間 1～2 時間

OT

検査の結果や特徴的なところから、支援のヒントとなるものを分析します。

# 読み書き相談の主訴（保護者から）

---

- ・文章問題ができないんです…
- ・漢字がなかなか覚えられなくて…
- ・音読の宿題をとても嫌がります。
- ・学校からは「頑張っているので、大丈夫ですよ」と  
言われるけど家で宿題できなくて、全然 大丈夫じゃ ないんですけど…

# 読みの検査 (STRAW-R) をしてみると 会話は上手にできるのに・・・

---

- ・ひらがな・カタカナ単語での読み誤り
- ・ひらがな・カタカナ単語での逐次読み
- ・非語（日本語でないでたらめな音の羅列）が正しく読めない
- ・カタカナをまだ全部覚えていない
- ・初見の文章が逐次読み・勝手読み・不自然な場所で切って読む
- ・熟語が正確に読めない、熟語を知らない

⇒ 音読、確かに面倒くさいだろくな…  
文章を読んで意味が分からるのは当然かも…

# 具体的には

小学校1年生～中学2年生

## 単語レベルでの読み誤り

- 『なす』⇒「すな！」
- 『へそ』⇒「へび！」
- 『あみだくじ』⇒「あくび」
- 『カステラ』⇒「からてら？」

## 読むのが遅い

## 逐次読み+誤り

- 『シャワー』⇒「し・あ・わー」

## カタカナ！文字を誤る・書けない

- 『ソ』『ピ』ってどう書くんだっけ？

# 学校で子どもたちの困り感に 気づいても「大丈夫」となってしまう

---

- ・ 本人に聞いても「大丈夫」という
- ・ 一見すらすらと読めているように見えるので大丈夫と判断する
- ・ たどたどしく読んで本人は頑張っているから「そこを評価しよう」となる



のかもしれません。

おそらく知的な問題はないので、自分で工夫して読めない部分をカバーしているのです。

教科書の漢字にルビ

数回聞いて ほぼ暗記する

実は ものすごく努力して、疲れている…

医療の役割として、検査や評価はできる。医師は診断をつけることもできる。

だけど、実際に支援を行っていくのは保育や学校などの現場。

何とか連携を取っていきたい。  
何を伝えればいい？

---

どんな支援をすればいいのか、  
伝えられればいいのに。

# どんな支援をすればいいのか? \*\*\*就学前\*\*\*

文字に興味を示さない子ども

読み聞かせやお話から内容をイメージしにくい子ども

だけでなく…どの子にも大切

「ことば」は音からできていることを意識させる遊びを取り入れる

『音韻認識』といいます。

これは、仮名文字を学習するための準備段階に大事なところです。

(書くトレーニングは就学前に無理にする必要はないと考えます。)

就学前にひらがなが少しでも読めるようになると、子供たちは学習が楽に始められるかもしれない。

でも仮名を読む前の準備段階を経なければ、文字は入っていかないのでないか?

# 「ことば」は音からできていることに気づく ～音韻認識を育てるあそび～

---

年中さんになつたら・・・こんな遊びが気づきを育てます

◆逆さまことば 「たいこ」 ⇄ 「こいた」、「ゆみこの反対はこみゆ」

◆音から始まることば集め 「か」から始まる言葉 『かい』『からす』

◆音数ごとのことば集め ◎◎「く・ま」 ◎◎◎「く・る・ま」

リトミック

しりとり

かるた

わらべ歌

手遊び歌

実は、昔からやってきたこと。  
大事だったんですね

➤ 伊那や駒ヶ根で小児リハをやっておられる小林章子STに教えていただきました。

# どんな支援をすればいいのか? \*\*\*就学後\*\*\*

---

その子の知能から期待される「読み・書き」能力が かなり低いかな?

と感じたら…

⇒ まず、1年生の夏休み中にお家で仮名の練習を頑張ってもらう。



楽しいと脳は学習を強化する。  
「勉強やらされ感」がないもの  
がいいですね。

# そして・・・2学期 担任の先生

気になる子どもに「STRAW-R」の速読の一部でもいいので

やってみてはどうでしょう？

または、何か初見の文章を音読してもらうだけでも気づけるかもしれません。



ひらがな・カタカナが すらすらと・正確に読める  
ように 何らか対策が必要、と判断する。



学年平均の音読速度や正答率があり、1.5SD以下だと、ちょっと大変が始まっている！

病院で検査しなくとも、まず手立てを考える判断になるのでは？

# どんな配慮が必要か？

「文字を読む」学習と「内容を理解する」学習を分ける

- ・ 仮名はとにかくパッと読めるように、練習する
- ・ 音読がすらすらできるまでは文章問題などは一緒に読んであげる（読む練習とは切り離す）
- ・ まずは読めること。 読めないものはいくら書いてもただの図形写し？かも。
- ・ どの子も ひらがな・カタカナを習熟する力は持っているけど 学び方が違うのでその子のペースで 学習支援。

早い段階から支援の手が入ると次の学習に進める  
と 思います。

大変なの気づいているよ！  
という先生や親御さんの見守  
る力が子どもの安心感へ

# 何か良い教材は？

---

- ・お家で親御さんの負担が大きくならない
- ・忙しい先生方がわざわざ個別に何かを作らなくてもいい
- ・見やすくて
- ・楽しくて
- ・どんどんやりたくなる
- ・できるようになると嬉しい

ありました！

伊那市での取り組みを紹介します。  
コロナで休校のなか、先生方が「ひらがなカード」を1年生全員分作ったそ  
うです。  
教材もQRコードですぐに入れる工夫  
もしております。素晴らしい！！

# MIMのサイトに 具体的な教材・動画が紹介されています

多層指導モデルMIM

このサイトについて サイトマップ 検索

MIMとは? MIMニュース 各地域でのMIM MIM関連資料 MIM Q&A

多層指導モデルMIM

MIMセミナー・サミット等のご案内 MIMオンライン学習

新着情報 最新 5件 ▾

地域でMIMの理解啓発をリードしてくださっている先生よりMIM 1年生指導実践例の提供 06/03 11:23

2年生の個別の配慮計画の一部不具合につきまして 05/27 15:56

長野県上田市の柳原伸子先生よりMIM自作教材の提供 05/14 11:27

長野県伊那市の福島徹先生よりMIM自作教材の提供 02/04 10:14

長野県伊那市の福島徹先生よりMIMの指導動画 02/04 09:48



ひらがなに ふれて なじむ!



『ひらがなが なかなか覚えられないんです。』

1年生の勉強がスタートすると、毎年耳にするフレーズです。

大切にしたいこと → 『多感覚の活用』

ふれる

手で、目で、耳で

→

なじむ

聞いたことある!  
見たことある!

→

いえる

言えるよ～!  
言いたい～♪

絵:コマチエ



伊那市内の1年生全員に  
『ひらがなカード』を配ろう!



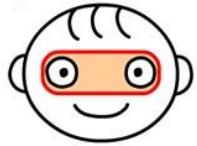
よく聞いて！ いつも 熱くなる カルタ取り !!



# 授業じゃない すき間に入る 支援と教材の提供



# 目から 耳から 書きながら 楽しく学ぶ



あいうえおを歌って覚えよう!



50音表に  
あいうえおを書こう!

あいうえお の うた～♪

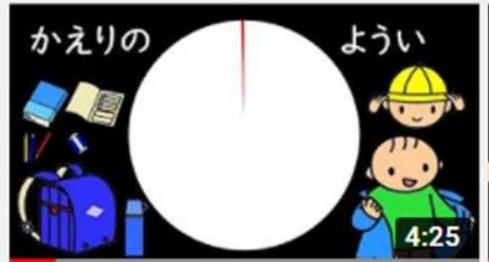
いつしょに  
うたおう～♪

曲・ピアノ：やまぎし みなみ  
うた：まるやまゆか、くらたあきこ、ふくしまとおる

の ますに ひらがなを かこう いくつ  
かけるかな?

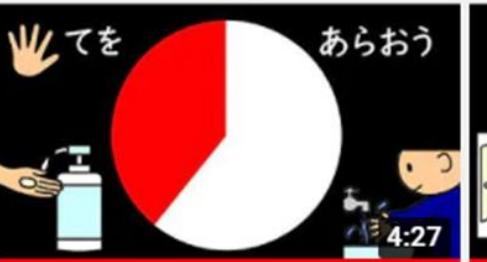
なまえ	ん	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ
い	い	り	い	み	ひ	に	ち	しき	い		
う	る	ゆ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う		
え	れ	え	め	へ	ね	て	せ	け	え		
を	ろ	よ	も	ほ	の	と	そ	こ	お		

# すき間時間に見られるような動画教材 「ちょこっと まなびっくす」



下校前 5分タイマー

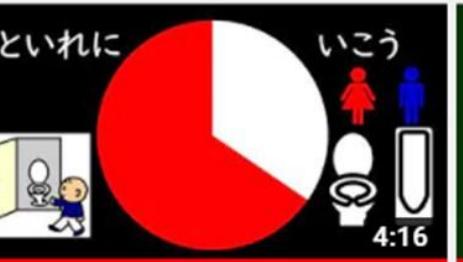
39 回視聴・1週間前



休憩 5分タイマー てつお

Ver

61 回視聴・1週間前



休憩 5分タイマー

99 回視聴・1週間前



アイウエオのうた～♪

56 回視聴・5か月前



あいうえおのうた～♪

132 回視聴・5か月前



2～9のだんを一緒に唱  
えよう！

37 回視聴・5か月前



9のだんを唱えて覚えよう！

12 回視聴・5か月前



8のだんを唱えて覚えよう！

12 回視聴・5か月前

すき間時間に見られるような動画教材

# 「ちょこっと まなびっくす」

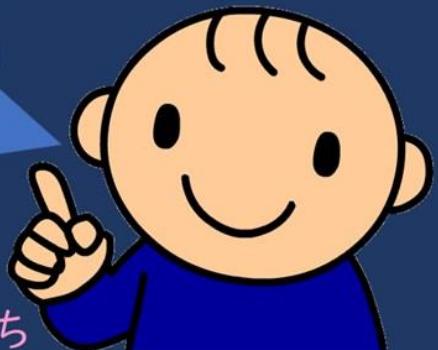
たくさん

うたって

おぼえよう!

とおくの おおかみ

制作：愉快な南っ子の仲間たち  
(南箕輪小学校 音楽科・伊那北小 サテラクト教室)



にんにんたいいそう

うたいながら  
やってみよう!  
ニンニン!

制作：愉快な南っ子の仲間たち  
(南箕輪小学校 音楽科・伊那北小 サテラクト教室)  
特別支援教育はじめのいっぽ 国語のじかん GAKKEN より



bo-symbol



# 病院では具体的な支援まではできない現状があり、言いっぱなしになっていました。

---

上伊那生協病院で検査をして、小学校高学年になっても仮名が「すらすらと正確に」できていないお子さんたちに出会います。

検査結果を「申し送り」として、親御さんや先生宛に文書を送るのですが・・・

「落ち着きがない・・眼球運動が・・形を捉える力が・・」などなど違いはあるけれど、まず、ひらがな・カタカナがすらすらできなければ、学習の土俵に上がれない。

「とにかく 仮名を！」しか言えない現実がありました。

こんなもやもやをお伝えできる機会をいただき感謝いたします。

そして、皆さんにご相談する中で私がたくさん学ばせていただきました。

# 学習の基礎となる 仮名の習熟は 頑張れば必ずできる！

---

すらすらと正確に自動化できるところまで応援してあげましょう。

- ・「めんどくさくない」「読むと内容が分かって面白い」が学習言語を育てます。
- ・平仮名はカタカナのもとに。カタカナは漢字の一部からできている。
- ・今の言葉はカタカナだらけ… 特異な分野(例:恐竜の名前)からカタカナ制覇を目指す。
- ・さらにはアルファベットにも苦戦が予想されるので、

ローマ字には少し時間をかけて…

と 支援の連鎖が見えてくるのでは…

落ち着きがない。話を聞く構えができていない。形を捉えるのが苦手。眼球運動がスムーズでない。とにかく覚えにくい。計算に苦戦している・・・などなど、学習の困難さは色々タイプがあります。そこは 医療で詳しく評価し、傾向をお伝えできると思います。

# お伝えしたかったこと

(仮名の大切さに絞った話にさせていただきました)

---

- ・子どもたちの困り感に早い段階でたどり着いてほしい
- ・学習の基礎となるひらがな・カタカナがすらすらと・正確にできるような楽しい支援が必要
- ・就学前からの音韻認識遊びの導入が大切
- ・「学び方の違い」があるから、その子どもにあった学習を
- ・伊那市での取り組み、教材のご紹介

# ありがとうございました

---

